

# 守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会  
連絡会事務局発行

## 7月14日(土) 守る会総会へ

今年の入試は、私たちが指摘したように、大変な事態になりました。

一次募集の時点で、応募が定員を超えた夜間定時制が全都で5校。また、八王子地区では八王子拓真の前期募集で400人近くの生徒が不合格になりました。さらに、多摩地区では、夜間定時制の二次募集に生徒が殺到し、多くの生徒が不合格に。行き場のない中学生が、去年以上に増えているのではないかと予想されます。

このような事態をふまえ、今現場はどうなっているのかについても今回の総会で論議したいと思います。以下の要領で行います。各職場で保護者にも働きかけてください。

### 7月14日(土)6時から、守る会総会

### 豊島区民センター(池袋東口から徒歩5~6分)

#### ~改革推進計画で

#### 定時制は今どうなっているのか~

夜間定時制・昼間定時制からの報告、中学の現場からの報告(予定)

その後、今後の方針について自由に論議し、方向性を確認していきます。



## 07年、八王子問題

予測を超えた深刻さに

### 多摩地区で“154人はどこにも入れない”

100校あった定時制高校を55校に統廃合・再編する「改革推進計画」が、この春は多摩地区の定時制を直撃しました。

そもそも多摩地区には19校しかなかった定時制のうち11校をなくすという「計画」。07年度は7校390人の募集停止（削減）に対し、この春に開校した八王子拓真と東久留米総合の2校合わせて361人の募集枠とされました。“定時制”とはいえ八王子拓真は三部制の学校、全日制希望者も集まる上、「改革推進計画」全体では全日制高校の大量の募集停止も含まれます。統廃合計画の進行とともに入学者数の増えている定時制の関係者からは、早くから「07春の八王子問題」が懸念されていました。

「定時制を守る会連絡会」では、「このままでは、07年春には定時制を希望しても入れない子どもたちが生み出される」と、都教委要請を重ねてきましたが、都教委は“多摩地域全体では就学計画は中学卒業生数に見合っている”と繰り返し、その“数”も合わなくなると“受験者がみな本当に入学したいわけではない”などという暴言まで飛び出す一幕もありました。

#### 都立定時制高校、史上最多の不合格者

果たして07年春の入試は、予想を超える事態となりました。八王子拓真だけでも前期募集・後期募集合わせて525人の不合格者を出し、統廃合を免れた既設の定時制へも希望者が殺到する状況になりました。結果として、多摩地区全体で、一次募集では411人、二次募集でも208人が定員オーバーのため不合格になりました。これに対して三次募集の枠はわずか54名。04年の江戸川地域をしのぐ、かつてない狭き門です。華々しく「改革」を謳った都教委の計画が、文字通り「行き場のない15歳」を生み出したのです。

#### 都教委は責任を回避するな！

多くの反対を押し切って統廃合をすすめてきた教育行政の責任が問われます。都教委は、「守る会連絡会」が求めてきた二次募集不合格者の追跡調査を実施し、統廃合のしわ寄せを受けた希望者の置かれた状況を直視するべきです。“プライバシー問題があるから調査はできない”などという言い訳は、自らの過ちにふたをし、責任を回避することでしかありません。

改めて「改革推進計画」を早急に見直すと同時に、生徒数の急増した既設校の教員定数増など、実態に即した緊急対応を求めます。